

5 将来の人口、世帯数などの見通し

1 人口

出生率の低下等を背景にわが国の人口は減少傾向になると予想されますが、新市においては、環境と共生した暮らしやすい都市、交流都市の実現等を理念とした新市まちづくり計画の着実な推進によって、平成27年における総人口を290,000人と設定します。

2 就業人口

平成12年国勢調査での従業地による就業人口は、145,088人であり、そのうち、第1次産業の就業人口が5,648人、第2次産業が42,990人、第3次産業が95,652人となっています。

これまでの推移としては、第1次産業が減少傾向、第2次産

業は平成7年国勢調査までは増加傾向にありましたが、平成12年には減少傾向を示しています。一方、第3次産業については、引き続き増加の傾向を示しています。

平成27年には、第3次産業における就業人口の増加見込みに加えて、第1次産業、第2次産業の振興や女性、高齢者の就業機会の増加などを考慮し、就業人口は、151,700人になると見込みます。

3 世帯

核家族化の進行や単身世帯の増加による世帯人員の減少により、世帯数については、平成27年には121,300世帯になり、一世帯当たりの人員は、平成12年国勢調査の2.79人から平成27年には、2.39人になることを見込みます。

平成27年
見込み

総人口 290,000人

就業人口 151,700人

世帯数 121,300世帯

❖将来の人口、世帯数などの見通し

(単位:人、世帯)

区 分		国勢調査値	推 計 値		
		平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年
総人口		286,521	290,500	291,600	290,000
	年少人口	42,176	40,000	38,800	37,600
	構 成 比	14.7%	13.8%	13.3%	13.0%
	生産年齢人口	189,446	188,300	184,600	177,600
	構 成 比	66.1%	64.8%	63.3%	61.2%
	老年人口	54,869	62,200	68,200	74,800
	構 成 比	19.2%	21.4%	23.4%	25.8%
総世帯数		102,795	109,600	115,700	121,300
	1世帯あたり人員	2.79	2.65	2.52	2.39
昼間人口		292,776	296,700	301,000	305,900
就業人口 (従業地ベース)		145,088	147,100	149,100	151,700
	第1次産業	5,648	5,200	4,700	4,300
	構 成 比	3.9%	3.5%	3.2%	2.8%
	第2次産業	42,990	43,600	44,200	45,000
	構 成 比	29.6%	29.6%	29.6%	29.7%
	第3次産業	95,652	98,100	99,900	102,100
	構 成 比	65.9%	66.7%	67.0%	67.3%

(注1) 本推計は、平成12年国勢調査人口をベースに将来人口を設定しました。

(注2) 総人口・年齢階層別人口:コーホート推計法により推計しました。

(注3) 総世帯数:平成7年及び12年の国勢調査世帯数の変化率をベースに推計しました。

(注4) 1世帯当たりの人員:総人口を総世帯数で除して算出しました。

(注5) 昼間人口:平成7年及び12年の変化率をベースに推計し、就業人口増を加味しました。

(注6) 就業人口:従業地ベースとして集計しました。

(注7) 産業別人口:将来人口をベースに産業別の構成割合を想定して推計しました。

(注8) 表中、就業人口の総数には分類不能者が含まれており、産業別人口の総数とは一致しません。